

## 11 ものの重さ (指導時期 2～3月・6時間)

★：その学年で特に育成を目指すべき問題解決の力を意識した内容です。

◆：その時間で学習する活動内容です。

単元の目標

物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

●物は、形が変わっても重さは変わらないこと。

●物は、体積が同じでも重さは違うことがあること。

●物の形や体積と重さとの関係について追究する中で、差異点や共通点を基に、物の性質についての問題を見だし、表現すること。

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 もののしゅるいと重さ	1	○物を見たり、持ったりして、物の重さについて気付いたことを話し合う。	<b>【態度】</b> 物の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 <hr/> <b>【思・判・表】</b> 物の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
	2	★ 問題を見つけよう ○はかりの使い方を知る。 ○はかりを使って重さを調べる。	
	3	○種類が違う物の重さを比べながら調べる。 ◆ じっけん1	<b>【知・技】</b> 物の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 <hr/> <b>【知・技】</b> 物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
	4	○物の重さについて気付いたことを話し合う。 ★ 問題を見つけよう ○形を変えたときの物の重さを比べながら調べる。 ◆ じっけん2	
2 ものの形と重さ			<b>【思・判・表】</b> 物の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

		<b>【知・技】</b> 物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉
5	○深めよう「形をかえて重さをくらべてみよう!」を行う。	<b>【態度】</b> 物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
6	◎「たしかめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。	<b>【態度】</b> 物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

**【準備物】**

身の回りの物 [空き缶 (アルミニウム)、空き缶 (鉄)、スプーン (金属)、スプーン (木)、スプーン (プラスチック)、スポンジ、はさみ、消しゴム、糊、ノート、鉛筆]、はかり (キッチンばかりなど)、同じ体積で種類の違う物 (アルミニウム、木、鉄、プラスチックの立方体)、プラスチック容器 (粘土などの測定用)、粘土 (油粘土)、アルミニウム箔、ブロック (レゴなど)